



1年目から月商7桁に到達したライターの体験記（4）月7桁も稼ぐって本当？



猛烈に稼ぎが増えて月7桁になったころのこと

Webライターの仕事って、月7桁に行くことがあるんです。そうでなくとも、月何十万円かにはなりません。しかも納品した次の月には入金があるので、即金性も高いのです。

前回の記事はこちら

月7桁も稼いでいるってほんとう？

これを読んで、「よし、Webライターを副業でしてみよう！」という方、良いと思います。書き仕事は楽しいですし、お客さん対応も人生の学びが多いですから、副業でのWebライターはおすすめです。

ただ、本業にするのはどうかというと・・・私自身が、本業でWebライターをしていますので、書きづらいのですが、もう他にやることがない、キャリアが行き詰まった、というときに、なれば良いと思います。文章を書くのは、死刑囚でもできる仕事なので、キャリアの後戻りが効かないのです。

死刑囚から文章書きにはなれるけど、文章書きから死刑囚にはなれない。いや、誤解を恐れずに書けば、なれますけども、なるものじゃないですよ。

売上と不安の狭間で

フリーライターになって、売上を月7桁にし、たくさんのお金に囲まれて幸せに暮らす。理想の生活に感じますが、私は当時、とても不幸でした。なぜなら、固定給根性を捨てきれていなかったからです。

毎日、「契約を切られたらどうしよう」と不安でいっぱいだったのです。マイナス面をみると、Webライターはワンコールワーカーと同じで、都合よく手配される日雇いです。セーフティネットもなく、雇用保険もないので、仕事がストップしたら本当に生活が破綻するのです。

そんな不安を抱えていたら、仕事にも悪影響ですし、メンタルにもよくありません。私はなんども夜に不安から過呼吸を起こしていました。将来の不安や仕事なくなる不安を考えるのは、本当によくありません。

ブログの読者も異常に増える

ただ、私は収入が増えて人生が変わっていく様子を、自分のブログに記述していました。

今日はこれだけの売上、こんなことを学んだ、こんな楽しいことがあった、これは悲しかった…。なんてことない雑記ブログですが、自分がリスクを取らずに1円ライターで30万円が続いたらなーと思っていたとき読者はゼロでしたが、収入がなくなるリスクを取って勝負している様子を書いていたら、読者がどんどん増えていったのです。

そのうち「全部読みました」「ファンになりました」と言ってくれる方も増え、また「ぜひあなたに書

いてほしいんです」と言って依頼をくださる方も現れるようになりました。

月商7桁稼ぐ本当のところ

売上のことは、誰でも何とでもいえます。

だからといって、通帳を晒したり、確定申告書を発表したりするのはちょっと違うかなと思っています。私のコラムを読んで「これは情報商材を売るための宣伝だ」と思われる向きもあるかもしれませんが。

たしかに、私は月350円で毎日更新の文章&ビジネスWebマガジンを運営しており、そちらで仕事のノウハウを毎日更新していますし、ブログにはランサーズの登録ボタンがあって、そちらに登録すると、なんとひとりにつき100円という莫大な成果報酬が入ります（冗談です）。よって、信じていただいても、疑っていただいても、構わないのです。

ただ、私の月7桁の売上は、とんでもない長時間労働の上に成り立っていました。1時間に1,000文字書き、それを12時間続け、来る日も来る日も仕事。文字単価が1円だったのが、5円にあがって、月7桁になった、ただそれだけのことです。よって、仕事が続きさえすれば、そんなに難しいことではありません。

朝は眠たいし、ずっと仕事をしていると飽きるし、たまには寝坊したいな、たまには遊びに行きたいなと思うことはありました。でも、いろいろなビジネスパーソンの方が「独立して最初の3年は寝る間も惜しんでどんな仕事でもやった」と言っていますので、私もそれに習って、寝る間も惜しんで働いていただけです。

売上は増えていくし、ブログの読者は増えるし、それが新しい仕事を呼ぶしで、良いサイクルだったと思うのですが、それでも私は不幸でした。それは、「安定したい」という捨てがたい感情にとらわれていたからです。

でも、その気持ちを完全に捨て去ったとき、本当の勝負が待っていました。

（次回 7/20に続きます。）

文：名もなきライター